Press Release

報道関係者各位

2026 年 11 月 16 日

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society

Japan PBSS 現地開催イベントのお知らせ
New Approach Methodologies - 開発から活用、規制受容、そして事業化へ

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society（Japan PBSS）は、NAM s に焦点をあてたイベント、New Approach Methodologies - 開発から活用、規制受容、そして事業化へ を、2026 年 12 月 5 日（土）、日本橋ライフサイエンスハブにて開催いたします。
本イベントでは、医薬品研究開発における次世代評価手法である NAMs（New Approach Methodologies）をテーマに、製薬企業、規制当局、アカデミアの第一線で活躍する専門家が集まり、その現状と将来展望について議論します。
動物実験代替や創薬プロセスの高度化への期待が高まるなか、本イベントでは、NAMs の実用化と社会実装に向けた最新の知見を共有し、産官学の連携による医薬品開発の未来を展望します。

【開催概要】

タイトル：New Approach Methodologies - 開発から活用、規制受容、そして事業化へ
日時：2026 年 12 月 5 日（土） 10:00～17:00
場所：日本橋ライフサイエンスハブ LSH-E 会議室
形式：ハイブリッド開催（対面+オンライン）
参加費：無料（事前登録制）
申込ページ： https://www.pbss.org/eventDetails/1103

【開催背景】

NAMs（New Approach Methodologies）は、創薬・医薬品開発の高度化と動物実験代替の両立を実現する次世代技術として注目されています。近年、FDA や EMA をはじめとする海外規制当局が活用を後押しし、日本でも PMDA を中心に産官学連携による環境整備が進みつつあります。本イベントでは、製薬企業、規制当局、アカデミアの専門家が集い、NAMs 活用の現状、課題、そして将来の方向性を多角的に議論します。

【プログラム】

13:00～13:15　Japan PBSS および本会のテーマの紹介
上村 成章、朝倉 省二（Japan PBSS）

13:15～14:00　NAMs の概要＆製薬企業における NAMs の活用と考え方（毒性）
奈良岡 準（日本製薬工業協会）

14:00～14:30　製薬企業における NAMs の活用と考え方（薬物動態）
後藤　昭彦（武田薬品工業株式会社）

14:30～15:15　製薬ベンチャーにおける iPS 創薬の展開について（創薬・薬理）
福島 弘明（株式会社ケイファーマ）

15:15～15:30　Sponsor Presentation
スポンサー複数社

15:30～15:45　Coffee Break

15:45～16:00　Sponsor Presentation
スポンサー複数社

16:00～16:30　規制当局における NAMs の評価と考え方
西村 次平（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA））

16:30～17:00　アカデミアにおける NAMs 研究と事業化
伊藤 弓弦（筑波大学）

17:00～18:00　パネルディスカッション ―今後の NAMs 活用のあり方
モデレーター：伊藤 弓弦（筑波大学）
パネリスト：上記登壇者、舟越 俊介（京都大学 iPS 細胞研究所）

18:00～18:10　クロージング
山本 憲幸（Japan PBSS）

18:10～19:30　Happy Hour & Networking

【協賛企業】

【Japan PBSS について】

Japan PBSS は、製薬・バイオサイエンス分野の専門家コミュニティとして、研究開発、薬事、データサイエンス、ビジネス開発など多様な領域の知識交流を推進しています。ウェビナーや勉強会を通じ、国内外の最新知見を共有し、産業発展に寄与することを目的としています。

公式 HP: https://www.pbss.org/chapter/Japan

公式 note：https://note.com/japan_pbss

公式 SNS：LinkedIn

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society

PR＆Advocacy：info.japan@pbss.org

担当：黒坂、池田、杉田